

## 緒方桂午さんに表彰状

九州身体障害者団体連絡協議会から表彰

1月16日、北九州市で行われた第46回九州身体障害者福祉大会きたきゅうしゅう大会で、長年にわたり身体障害者福祉事業に尽力されたとして、緒方桂午さんが組織活動功労表彰を受けました。緒方さんは平成5年に御船町身体障害者福祉協会に入会。上益城郡身体障害者福祉連絡協議会副会長を務められるなど、上益城郡および御船町の障がい者の福祉向上に大きく貢献されています。緒方さんは「表彰をいただき感謝している。今後も、微力ながら力の限り福祉向上に努力したい」と話しました。



ニックマンさん家族と交流する小坂小6年生

## マレーシアの文化を学ぶ

小坂小学校6年生が交流

1月26日、小坂小学校（吉見和洋校長、172人）の6年生が、総合的学習の授業で、マレーシア人のニックマン・アルバリ・ムスタバさん家族と交流しました。交流は、旅行中のニックマンさん夫婦とホストファミリーだった須賀とよこさん（豊秋）の提案で実現。1学期から異文化について勉強していた6年生に、ニックマンさん夫婦が写真を使って英語でマレーシアの風景や料理、文化を紹介。児童たちは「好きな色はなんですか」など英語で考えた質問をしていました。

## 大会と研修会を合同開催

町青少年健全育成大会・町PTA研修会

1月24日、町カルチャーセンターで町青少年健全育成大会（山本孝二会長）と町PTA連絡協議会研修会（松崎邦寿会長）が合同で開催されました。大会では、家庭の日推進メッセージの表彰が行われ、全84点の応募作品の中から最優秀作文に選ばれた、清水遙さん（木倉小3年）が「家族はいいなあ」を発表しました。続く研修会での事例発表では、御船小学校と七滝中央小学校のPTAが発表。最後に「生活が教育する～大人が変われば子どもが変わる～」と題した、大畑誠也九州ルーテル学院大学客員教授の講演が行われました。また、県童話発表会に郡代表として出場した丸山凜さん（御船小6年）が「みなまた、よみがえる」を発表しました。

「家庭の日」推進メッセージ入賞者

●標語（小・中学校）

最優秀賞 小坂小5年 高田 優希さん  
優秀賞 高木小3年 高田 遥菜さん

●絵画（小・中学校）

優秀賞 御船小6年 松本 絢里さん

●作文（小・中学校）

最優秀賞 木倉小3年 清水 遙さん  
優秀賞 御船小6年 松本 絢里さん



1\_最優秀賞に選ばれた作文を発表する清水遙さん 2\_童話発表を行う丸山凜さん 3\_御船小学校PTAによる事例発表 4\_大畑誠也九州ルーテル学院大学客員教授の講演

## 無病息災を炎に願う

ロータスクラブがどんどや

1月11日、御船川河川敷でロータスクラブ（福味総一郎会長、15人）の「どんどや」が開催されました。ロータスクラブは戦後すぐに発足。娯楽がなかった時代、人々の楽しみのため、ロータスクラブが「七夕」と「どんどや」を戦後から続けていました。現在は、「どんどや」のみ開催。参加者には、だご汁が振る舞われました。福味会長は「年々、会員の高齢化が進んでいるが、戦後から続く伝統をこれからも続けていけるようがんばりたい」と話しました。



2年ぶりに開催されたどんどや



下鶴橋でふねまると記念撮影

## ふねまるが登場

下鶴サロン

1月21日、下鶴サロン（井上朝子代表）にふねまるが登場し、下鶴公民館前でサロン参加者約25人と交流を行いました。ふねまるの愛嬌のある動きや表情に、参加者は多くの笑顔浮かべ、サロンは賑わいを見せました。交流後は下鶴橋まで移動し、橋の上で写真撮影を行いました。井上代表は「ふねまるが来ることでサロン参加者の皆さんに笑顔になってもらったのでよかったです」と感想を話しました。サロンは月に1回、下鶴公民館で行われています。

## 地域の守り神 毘沙門さん

毘沙門さん御堂落成式

1月23日、木倉地区田端にある御堂の落成神事が行われました。御堂に祀られている毘沙門さんは、明治時代の水害で同地区に流れ着いたと伝えられており、守り神として毘沙門組15世帯が管理しており、毎年10月23日にお祭りが開催されています。同組の渡邊令之前会長は「新しく完成した毘沙門さんを利用して、毘沙門組の融和をますます強くしていきたい。また、いい雰囲気でもみんなが楽しく過ごせるよう、これからも御堂をサロンとしても利用してもらいたい」と完成を喜びました。



毘沙門さん（左上）と神事後お堂の前で談笑する参加者

## 井口誠一さんに表彰状

人権擁護委員に対する法務大臣表彰

人権擁護委員の井口誠一さん（小坂）が、法務大臣表彰を受け、10月20日、東京都内の法務省で行われました。井口さんは、平成16年から人権擁護委員として活躍。現在4期目で、熊本人権擁護委員協議会会長を務めています。受賞に「人権擁護委員は町に5人。幅広く相談を受けており、相談後の安心した相談者の笑顔を見ることがうれしい。人権擁護委員を多くの人に知ってもらい、一人でも多く早めの対応で、人権侵害されている人を救済できるように相談を受けていきたい」と話しました。

